

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら北沢

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	5	1	0	事前に部屋割りや、活動スペースの確保についての打ち合わせを行い、安全面や活動内容に配慮していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	4	1	法令上の配置数は満たしています。スタジオ内での調整の他、本社や他スタジオとも連携を図りながら適切な支援が可能な職員数が配置できるよう調整を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	3	建物の構造上完全なバリアフリー化はできませんが、階段には手すりを付けるなどの配慮はしています。また、絵カードやイラストなどを用いて構造化しています。今後も可能な限り構造化を進めていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	5	1	0	業務改善などを目的とした会議の日程を設定し、多くの職員が参画できるように調整しています。今後も継続して支援の充実に回っていきます。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	頂いたご意見を共有し、改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	HP上で公表しています。また、保護者様が確認できるように周知していきます。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	0	今後必要に応じて検討していきます。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	各職員の専門性に大きな差が生じることのないように、定期的に研修を行い、スキルの向上に努めていきます。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	ケース会議の日程を事前に決め、アセスメントの結果を基にお子様や保護者様のニーズも含めて支援の方向性を話し合う場を設けています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	アセスメントツールを使用し、個別支援計画の参考にしています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	4	1	お子様を担当する職員が主体となって立案をしていますが、適宜チーム全体で活動プログラムの共有や立案を行う場合もあります。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3	0	職員間で直近の活動内容について情報共有をし、お子様が常々楽しく活動できるようプログラムの作成を行っています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	2	1	職員間で情報共有を行い、状況に応じた課題やプログラムの設定を行っています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	ケース会議を行い、お子様の状況や必要性に応じた支援計画の作成を行っています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	朝礼・昼礼で情報の共有を行い、業務内容の確認を行っています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	1	0	終礼を行い、業務報告や共有事項の確認を行っています。今後も引き続き支援の充実に回ります。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	支援実施後にサービス提供記録をとっています。また記載しきれない範囲の様子等については朝礼・昼礼・終礼の中で、細かい支援内容の共有も行っていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	最低6か月ごとにモニタリングを実施し、必要に応じて随時見直しを行っています。今後も引き続き支援の充実に回ります。

関係機関や保護者との連携	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	6	0	0	ガイドラインを各職員が確認の上、「自立支援と日常生活の充実の 為の活動」、「創作活動」、「地域交流の機会の提供」、「余 暇の提供」の基本活動の中から偏り無く支援を行っています。今 後も引き続き支援の充実を図ります。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	1	5	0	主に児童発達支援管理責任者が参加しています。その際事前に直 近のお子様の様子について各職員からの情報共有の機会を設ける 等、お子様の状況を適切に把握することに努めています。また今 後は適宜直接支援に当たっている職員も参加できるように調整して いきます。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時対応、トラブル対応）を適切に行っているか	1	2	3	年間計画等は学校からの発信内容を随時確認しています。必要な 連絡調整等については適宜連携を図っています。今後も継続して 情報共有を適切に行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	2	受け入れをしていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相 互理解に努めているか	2	4	0	必要に応じて連携を図っています。今後も引き続き連携を図って いきます。
	㉔	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それま での支援内容等の情報を提供しているか	1	5	0	必要に応じて連携を図っています。今後も引き続き連携を図って いきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている か	4	1	1	必要に応じて連携を図っています。今後も引き続き連携をはかっ ていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のな い子どもと活動する機会があるか	0	1	5	必要に応じて交流の検討を行っていきます。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	4	必要に応じて参加できるよう調整を行っていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を持っ ているか	5	1	0	活動後のフィードバック、定期面談、電話・メールにて家庭や学 校での様子などを確認し連携を図っています。今後も引き続き連 携を図っていきます。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニングなどの支援を 行っているか	2	2	2	現在は具体的なペアレント・トレーニングの機会を設けておりま せんが、ご要望を頂いた際にお応えできるよう、引き続き職員の 専門性の向上に努めます。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧 な説明を行っているか	5	1	0	契約や変更があった際に説明を行っています。 引き続き、変更があった際など丁寧な説明に努めていきます。
	㉑	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	定期面談や活動後のフィードバックの際に行っています。その他 にも相談を受け付けるための時間を確保できるよう、面談希望票 を設置し、機会の充実を図っております。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催 することにより、保護者同士の連携を支援してい るか	0	2	4	必要に応じて父母会の実施を検討していきます。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 や整備するとともに、こどもや保護者に周知し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している か	5	1	0	相談があった際は特に迅速に対応できるように努めています。引 き続き迅速且つ丁寧に対応していきます。
	㉔	定期的に会報等を発送、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信し ているか	5	1	0	ホームページにてそら通信の更新を行なっています。また定期郵 送物にも会報を同封しております。スタジオ毎のお知らせは待合 スペースの掲示板で発信しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	人の出入りの多い待合スペースでのフィードバックを原則廃止と し、個別で行えるように場所を分けて行っています。書類管理は 鍵付きの書庫を使用しています。メールの誤送信防止ソフトを導入し、 誤送信への対策を講じています。今後も引き続き、個人情報 の取り扱いに細心の注意を払っていきます。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝 達のための配慮をしているか	5	1	0	活動後のフィードバックの場所と、お様が待機する場所を分け る分けることでニーズや状況の聞き取りなどの意思疎通を行いやす い環境を整えています。今後も引き続き情報共有をし、支援の 充実を図っていきます。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っているか	0	1	5	必要に応じて検討していきます。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知し ているか	6	0	0	マニュアルの策定は行っています。内容について職員へは研修を 通じて周知し、保護者様へは待合スペースの掲示や冊子の設置に よって周知を行っています。

非常時の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	地震や火災を想定した訓練を年二回以上行なっています。訓練実施の際は保護者様に周知し、訓練への参加、ご協力を呼び掛けていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	研修を実施し、適切な対応方法を学んでいます。定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していきます。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	4	2	0	契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	3	今年度は感染症予防の観点から食育を実施しませんでした。実施する場合には事前に情報確認を行い、医師の指示に基づいて細心の注意を払っていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	昼礼や終礼の際にその日のヒヤリハット事例を全体で共有し、その後報告書の作成、周知を行なっています。定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していきます。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。